

# らじみさらダボール子育て情報



「体験と経験」  
令和2年1月29日号  
板橋富士見幼稚園



## 小さな体験を積み重ね大きく成長する子ども達

どのお子様も、日々の営みの中で、育ちを実感されている事と思います。お子様が毎日ブロックやプラレールで遊んだりする姿を見る機会が多いかと思えます。子どもはいつも同じことをしているように見えますが、実は毎日よく見てみると、作り方や遊び方、手の動きやつぶやきなど様々に変化しているのです。

同じ遊びのように見えていても、体験を繰り返しながら、様々な経験をしている姿を捉えることができます。「いつの間にこんなことができるようになったの」ときっと驚かれることもあるかと思えます。体験を繰り返し、経験を積み上げることは、日々に生きることであり、子どもにとっては大きくなるうとする知恵の学びなのです。



これからの子どもとのつながり方は、学び続けている子どもに、時々疑問を投げ掛けてあげたり、ヒントを与えてあげたりすることを心がけてみてください。

工夫すること、考えること、想像すること、そして判断すること、その一つ一つのプロセスが多様性を生みだし、その子らしい一つの姿として表現されてきます。

昔の教育は、コインロッカー（同じもの）のように育てていくことを目的としていましたが、今は教育が大きく変わり、一人ひとりの資質と能力を伸ばす教育に転換されつつあります。画一的に知識を教え込み、指示や命令だけで記憶・暗記させていく教育も、過去の遺産となりつつあります。これからは、時折判断を子どもにゆだねさせてみたり、体験を積み重ね、経験をばねに、考えさせたり、工夫させたりする家庭教育をしてみたいかがでしょうか。優れた能力を発揮する基盤になります。ぜひ、試してみてくださいね。